



# 紫野学区 防災まちづくり News

## 第4号

平成 28 年 9 月

編集・発行：紫野学区防災まちづくり委員会（委員長：白瀧 雅章）

## 🍎 防災まちづくりセミナーを開催しました！

紫野学区では、住民の皆さんと一緒にまちの安全性を高める「防災まちづくり」の取組の一環として、7月28日（木）に「防災まちづくりセミナー」を開催しました。

セミナーでは、阪神・淡路大震災や熊本地震での被害の状況から、**災害時の建物倒壊等による危険性**を学んでいただいた上で、皆さんがお住まいの**建物の耐震性を高めるための補助制度**のほか、**防災まちづくりに関する様々な補助制度**の紹介を行いました。

お一人おひとりがご**自宅の耐震改修や防災まちづくりの取組み等**について考えるきっかけとなり、また、**セミナーの継続開催や積極的な取組みを望むご意見**も多く寄せられるなど、非常に有意義な内容でした（裏面参照）。

今後、これらの制度を活用して**今すぐできる対策を推進**するとともに、『**防災まちづくり計画**』の作成に向けて**意見交換会**の実施を予定しておりますので、ご理解とご協力をお願いします。



阪神・淡路大震災では、約8割の人が建物の倒壊で亡くなっている

耐震性の低い建物は、地震発生から約11秒で倒壊してしまう

一人ひとりが防災まちづくりの取組を考えることが大事だね

(ひにゃんこ)

## 防災まちづくりに取り組む紫野学区では、 **耐震改修の補助制度がお得にご利用いただけます！**

住民の皆さんには、回覧でお知らせしましたが、**紫野学区では、建物の耐震改修等に対する補助制度が通常よりもお得に受けられます**ので、この制度を積極的にご利用ください。

		紫野学区ではさらに	
自分の家はどのくらい地震に強い？	<b>ご自宅の耐震診断</b> を受けましょう。※1 京都市から耐震診断士が派遣されます。自宅の安全性を確認しましょう。	<b>平成28年度は診断費無料！</b>	<b>【耐震改修補助の問合せ先】</b> 京都市住宅供給公社 京・安心すまいセンター TEL：075-744-1631 9：30～17：00 水曜・祝日・年末年始は休み
しっかりと地震に強い家にしたい！	<b>ご自宅を耐震改修</b> しましょう。※1 木造住宅は最大60万円、京町家なら最大90万円の補助！	<b>補助額が最大15～30万円</b> 上乘せ！ (防火対策※2を併用した場合)	
できるところから家を改善したい！	<b>ご自宅の傷んだ部分を改善</b> しましょう。※1 土台や柱の修繕、屋根の軽量化など、合計60万円の補助！（個別に最大20万円）	<b>補助額が最大15万円</b> 上乘せ！ (防火対策※2を併用した場合)	

※1 昭和56年以前に建てられた木造住宅が対象  
※2 防火対策とは、感震ブレーカーの設置や外壁等を火に強くする工事

耐震改修以外にも次のような補助制度がありますので、京都市にご相談ください!!

- 老朽木造建築物の除却
- 跡地の防災広場への整備
- 危険ブロック塀等の改善

 **裏面もご覧ください。**



# 防災まちづくりに関するアンケートまとめ

防災まちづくりセミナーでは、紫野学区の特性や防災上の課題を理解していただき、今後の「防災まちづくり」のあり方についてのご意見を伺うため、アンケートも実施しました。

アンケートでは、以下のようなご意見やご感想を多く頂くことができました。

今後、皆さんの貴重なご意見を踏まえ、「防災まちづくり計画」の作成に反映していきたいと思っております。



アンケート回答の様子

## 1. 町内の現状に対する想い・評価

- 静かで暮らしやすい、近所ですで日常的に声を掛合う仲の良いコミュニティがある
- 古い木造の建物や行き止まりの道、幅の狭い道が多く災害時が心配である

## 2. 災害につよい「みち」、「いえ」、「まち」づくりのために特に重要だと思う取組

	住民一人ひとりが取り組むこと	町内全体で取り組むこと
「みち」 に関して	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自宅から各町の「地域集合場所」までの避難経路を確認する</li> <li>● 自転車や植木等は整理整頓し、避難の際に支障とならないようにする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 各町の「地域集合場所」までの避難経路沿いの建物の耐震・防火改修を呼びかける</li> <li>● 路地に不要なものを置かず、整理整頓して置く等の路地の適正管理を呼びかける</li> </ul>
「いえ」 に関して	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地震に対する自分の家の安全性を点検する</li> <li>● 自分の家を耐震改修、防火改修する</li> <li>● 老朽化した空き家を除却する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 耐震・防火改修を町内全体に呼びかける</li> <li>● 空きの状態を地域で把握し、適正管理等を所有者に働きかける</li> <li>● 防災の勉強会等を町内や班単位で開催する</li> </ul>
「まち」 に関して	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 一人ひとりが防災まちづくりへの取組に関心を持つ</li> <li>● 普段からの声掛けなど、住民同士のコミュニケーションを深める</li> <li>● 災害時における各町の「地域集合場所」での行動を確認する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高齢者等の情報や災害時の避難誘導のルールを確認・共有する</li> <li>● 防災まちづくりの取組について町内全体で話し合う</li> </ul>

## 3. 町内の将来像への想い

- まちの姿は大きく変えずに、避難誘導體制を確立するなど住民の力でまちの安全性を高めていく
- 現在の町並みを残しながら、既存の建物を改修してまちの安全性を高めていく

## 4. 今後の防災まちづくり委員会の取組へのご意見・ご要望

- 京都市の補助制度がこれほど充実していることを知らなかったので、我が家でもぜひ考えてみたい
- 大変勉強になったので、もっとたくさんの人に参加してほしい
- 防災まちづくりに関する説明会を何度も開催してほしい
- より活発な防災まちづくりの活動やPR、ご指導をお願いしたい
- 防災まちづくりの長期的な取組を期待している



(ふくろうじい)

アンケートへのご協力ありがとうございました。  
今後、意見交換会も開催しますので、ご参加ください!!



# 紫野学区 防災まちづくり News

## 第 5 号

平成 28 年 11 月

編集・発行：紫野学区防災まちづくり委員会（委員長：白瀧 雅章）

今年も  
やります！

## 防災まちづくりワールド in 紫野まつり

紫野学区では、住民の皆さんと一緒にまちの安全性を高める「防災まちづくり」の取組を進めています。

そこで、**防災まちづくりの取組や防災に関する様々な情報について、住民の皆さんにもっと知っていただくとともに、今後の防災まちづくりの進め方や具体的な対策等について意見交換を行うため、今年も「防災まちづくりワールド in 紫野まつり」を開催します！**

- ▶ とき：平成 28 年 11 月 13 日（日）／紫野まつり
- ▶ 会場：紫野小学校 体育館
- ▶ 内容（予定）：
  - パネル展示 これまでの防災まちづくりの取組等
  - 映像配信 総合防災訓練の様子、耐震実験等
  - 体験・展示 耐震模型、避難所運営キット
  - 無料相談会 耐震診断、京都市の支援制度
  - 防災まちづくりに関するアンケート、意見交換

紫野まつりにお越しの際は、ぜひ会場に足をお運び下さい。



↑ 総合防災訓練の報告

↑ 防災まちづくりの取組の紹介



↑ 模型を使った耐震体験



↑ 防災クイズラリー



↑ 意見交換



耐震無料  
相談会→

【昨年の防災まちづくりワールドの様子】

裏面もご覧ください。

# 🍎 防災まちづくり意見交換会にご参加ください！

現在、防災まちづくり委員会では、**将来のあるべきまちの姿や、住民の皆様と一緒に継続して防災まちづくり活動を進めていく上での考え方や具体的な取り組み等**を取りまとめた『防災まちづくり計画』の策定を進めています。

そこで、安心・安全なまちづくりに向けた住民の皆様のご意見やアイデア等をいただき、計画づくりに反映していくため、『**防災まちづくり意見交換会（ワークショップ）**』を開催します。

町内会長、防災部長のほか、**どなたでも参加できます**ので、紫野学区の安心・安全を築くため、ぜひともご参加ください。



ワークショップは、皆さんが主体的に意見交換するための会議方法です。

## 紫野学区 防災まちづくり意見交換会の日程表

開催日	対象町内名	会場, 時間
11月22日 火曜日	<b>1班</b> (新御所田町, 御所田公町, 御所田東町, 東御所田町, 宮御所田町, 宮東町)	紫野小学校 ふれあいサロン 19:30~21:00
	<b>2班</b> (西御所田町, 中宮町, 宮西町, 雲林院南町, パークシティ北大路)	
	<b>5班</b> (上築山北町, 上東野町, 今宮大徳寺町, 西野西町東部, 西野西町西部)	
11月29日 火曜日	<b>3班</b> (横路東町, 横路西町, 築山北町, 築山南町, 築山西町)	紫野小学校 ふれあいサロン 19:30~21:00
	<b>4班</b> (北藤ノ森東町, 北藤ノ森西町, 金鷄町, 藤ノ森西北町, 藤ノ森東北町)	
	<b>6班</b> (東舟岡北町, 東舟岡町, 東舟岡南町, 宮腰町, 南舟岡北町)	
12月6日 火曜日	<b>7班</b> (昭和町, 藤ノ森元町, 藤ノ森東南町, 藤ノ森仲町, 藤ノ森西南町, 山元南町)	紫野小学校 ふれあいサロン 19:30~21:00
	<b>8班</b> (山元北町, 南舟岡東南町, 南舟岡東町, 南舟岡南町, 南舟岡町)	
	<b>9班</b> (南舟岡本町, 南舟岡中町, 南舟岡末広町, 北舟岡町東部, 北舟岡町中部)	
	<b>10班</b> (北舟岡町西部, 北舟岡町南部, 南舟岡西町, 南舟岡西南町, コスモ紫野)	

➤ 各班に分かれて、班ごとの特性・課題を踏まえた意見交換を行いますので、**該当するご町内の開催日**にご参加ください。



# 紫野学区 防災まちづくり News

## 第 6 号

平成 29 年 1 月

編集・発行：紫野学区防災まちづくり委員会（委員長：白瀧 雅章）

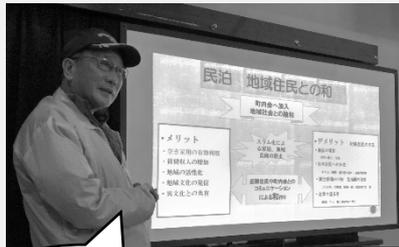
## 🍎 防災まちづくりワールド in 紫野まつり 開催!!

紫野学区では、防災まちづくりの取組や防災に関する様々な情報発信とともに、今後の防災まちづくりの進め方や具体的な対策等について意見交換を行うため、11月13日（日）に「防災まちづくりワールド in 紫野まつり」を開催しました！

当日は、被災地への募金活動、耐震模型や映像配信、パネル展示等による防災まちづくりの取組の紹介に加え、防災まちづくりに関するアンケートなどを実施し、子供から大人までたくさんの方々に防災対策の重要性や防災まちづくりの取組を知って頂く良い機会となりました。

ご参加及び貴重なご意見を頂いた方々に御礼を申し上げます。

### 防災まちづくりワールド in 紫野まつりの様子



民泊問題への対策が必要



耐震性が低い建物は約 11 秒で倒壊



感震ブレイカーの設置も効果的

#### 耐震実験等の映像配信、無料相談会



家を地震に強くするにはどうする？



模型を作りながら、耐震を学ぼう

#### 模型を使った耐震体験・パネル展示



みなさんとともに、安全なまちをつくる取組です



狭い路地や空き家は解決すべき課題



どんな対策ができるだろう？

#### 防災まちづくりに関するアンケート、意見交換

#### 熊本・鳥取地震への義援金

総額 10,574 円を日本赤十字社に届けました。  
ご協力ありがとうございました。

裏面もご覧ください



# 防災まちづくり意見交換会を開催しました！

紫野学区の安心・安全なまちづくりに向けた住民の皆さまのご意見やアイデア等をいただき、まちの安全性を高めるための考え方や具体的な対策等を取りまとめる「防災まちづくり計画」作成に反映していくため、11月22日（火）、11月29日（火）、12月6日（火）に『防災まちづくり意見交換会（ワークショップ）』を開催しました。

意見交換会には、延べ120名の皆さまにご参加いただき、紫野学区の魅力や解決すべき防災上の課題から紫野の目標について気軽に話し合い、その目標の実現に向けて、町内で具体的にどのような取組が考えられるか意見交換をしました。

ご参加及び貴重なご意見を頂いた方々に御礼を申し上げますとともに、今後も防災まちづくりの取組へのご理解とご協力をお願いします。

## ▼ 防災まちづくり意見交換会での主なご意見 ▼

### 1. 紫野学区の目標を考えよう！

- 歴史では「船岡山」や「やすらい祭」、コミュニティでは「地蔵盆」や「町内会」、まちなみでは「静かで暮らしやすい」などを魅力だと思う人が多い
- 魅力を守るために、「空き家」や「狭い路地」、「老朽化建物」に関連した問題が課題

### 紫野学区の魅力や課題だと思ふものにシール貼り！



長い年月の中で培われた歴史的背景を土台として、未来に向けて新しいまちづくりに取り組んでいく「レトロモダン」なまちを目指すとともに、防災性の向上など、みんなで協力して災害に強いまちをつくっていきます

### 2. その目標がどうしたら実現するか考えよう！

- まずは防災意識を高めることが大事
- 防災に関して、町内で話し合うことが大切
- マンションに住む人や新しい住民との日頃からのコミュニケーションが必要
- 空き家や一人暮らしのお年寄りの情報は、町内でしっかりと把握する
- 災害時の避難の際は、助け合うことが大事
- 空き家が増加する中で、民泊も増加し、旅行者による火事や騒音等の問題には町内でルールを決めて対応する
- 各町内会での取組との連携体制づくりが必要
- 災害時には人と人とのつながり、地域のコミュニティが大切

### 各班ごとでの意見交換！



### ご意見を反映



# 『防災まちづくり計画』を策定します！

現在、防災まちづくり委員会では、将来のあるべきまちの姿や、住民の皆さまと一緒に継続して防災まちづくり活動を進めていく上での考え方や具体的な取り組み等を取りまとめた『防災まちづくり計画』の策定に向けて検討を進めており、今年度中に策定する予定です。今後も防災まちづくりの取組へのご理解とご協力をお願いします。